

令和 5 年 9 月 1 日 庁舎改築周辺整備事業見直し方針 策定・公表

住民の声

議会



・見直しをするのに、今までと同じ設計事業者で本当に見直しになるのか。

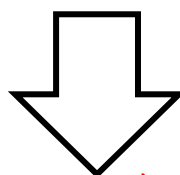
・土地の拡大や同時着工にするなどの諸条件が変わったのに同じ事業者で良いのか。

・他の事業者との比較検討は必要ないのか。 等



設計事業者については、プロポーザルにて提案力や対応力などの総合力を評価して選定しているため、基本設計完了までに培ったノウハウや知見を活かすために引き続き協力をお願いしたい。

町の見解



住民との合意形成を大切にし、しっかりとした

プロセスを踏んでいきたいという考えから、一旦立ち止まり、現在の設計者と見直しを行うかについて再検討をすることとした

10 月 2 日 町マスターアーキテクト宛てに

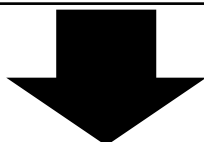
土屋町長・小池副町長・中山総合政策課長の 3 名にて訪問・相談

マスターアーキテクト  
(プロポーザル審査委員長)

團 紀彦 氏



建設場所自体が変わるなど大幅な変更があるわけではなく、プロポーザルをやり直すレベルの話ではないし、やり直しによって上手くいくとは限らず、かえって混乱を招く可能性もあるのでその点も考慮すべきである。これまでの成果や設計者としての思いなど、設計者自らが町民へ向けて発信できる機会を設定してはどうか。そうすることで、これまでの取組みに対しての妥当性を住民にも正しく認識してもらうことや、町民がこれまでの計画・設計内容に対して抱えている疑問を払拭することができるのではないかな。



庁舎改築周辺整備事業  
推進委員会の始動

&amp;

山下設計・三浦設計室  
による委員会での説明  
機会を設定